



2020-2021 年度
2月号
NO. 389

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

TOF

国際会長：Kim Sang-chaе (Korea) 主題:「世界とともにワイズメン」
 アジア太平洋地域会長：大野 勉 (神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」
 東日本区理事：大久保知宏(宇都宮) 主題:「変化をたのしもう！」
 関東東部部長：大澤和子(所沢) 主題:「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」
 東京ひがしクラブ会長：高野真治 主題「摂取不捨」～えらばず、きらわず、見すてず～

2月例会(TOF)

と き 2022年2月10日(木)
19:00~20:30
※Zoomによる例会

★プログラム/司会：野澤一弘

開会挨拶	会長 高野真治
TOFへのお祈り	野澤一弘
ゲスト紹介	
今月の誕生日・結婚記念日	
ゲストスピーチ	
「人工衛星と私たちの暮らし」	
小林 勉氏 (所沢クラブ)	
各種報告	
閉会挨拶	副会長 千代一郎



強調月間:TOF(Time Of Fast)

TOFは、クラブ例会での食事を抜き、その相当分を国際協会に献金する。国際協会は毎年各地からふさわしい地域支援を募集し、その中から審査で選ばれたプロジェクトに対し、1年から3年間の支援をする。

2021-2022年度、国際のTOF選考委員は申請のあった11のプロジェクトから8つを選び、支援を決定しました。今年度は特別にコロナの状況にあった活動かどうか選考の際、基準に入れられたとの事。総支給予定額は93,300CHF(日本円で約1,120万円)。

(単位 CHF=スイスフラン)

- ・アフリカ、カメルーン/移住民女性(200人)に有機農業指導し農機具、種などの提供。7,500CHF
- ・アフリカ、ジンバブエ/20人のユースへ職業訓練、80種類の農産物を生産。7,500CHF
- ・アフリカ、ケニア/孤児の学校「希望の泉」の建物のドアと窓の建設費用。14,980CHF
- ・アフリカ、ルワンダ/貧困地域 200家族の生活支援。1家族に1頭の豚を提供。15,000CHF
- ・マレーシア、南ジェホー/貧困地域における水耕栽培の農業指導。13,373CHF
- ・インド、ナガプール/ナガプールの貧困家庭へ食料を定期的、持続的に届ける。5,000CHF
- ・インド、グリーンアスター/がん末期患者のホスピスで働くスタッフや研修生の集合住宅建築費用。15,000CHF
- ・南米チリ、サンチアゴ/若者や女性の教育を通して小規模の自営業を立ち上げ運営できるようにする。14,947CHF

🕊 今月の聖句 🕊

『あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい』

ールカによる福音書 第6章36節ー

1月例会

出席者 12名 ゲスト3名
 会員出席数 9名
 在籍数 12名
 (広義会員2名)

ひがし会員出席率 90%

スマイル

1月 20,000 円

累計 29,000 円

2021-2022 年度役員

会長 高野真治
 副会長 千代一郎
 書記 金丸満雄
 会計 須田哲史
 担当主事 沖 利柯

1月例会(新年会)

1月13日(木)、新年を迎えた1月例会を東陽町センターYMCAホールにて開催した。高野会長が欠席のため、千代副会長の開会点鐘で開会。緊張した千代副会長の開会挨拶のあとゲスト紹介が行われ、冲担当主事による食前の感謝で食事となった。間隔をあげた席とコロナ感染防止で会話が少なく静かな食事タイム。今月の誕生日と結婚記念を行い、昨年末に亡くなられた飯田メンを偲び、まだ悲しみが残る中思い出を語り合った。最初に飯田メン十八番の演歌をバックに、思い出スナップがプロジェクターに映し出された。そして、旅行の事・佐渡キャンプの事・世話になった事等々、明るい笑顔と気配りの飯田メンとの思い出話が一人一人から語られた。そして、出席された飯田コメット二人からはお礼と感謝が述べられた。オミクロン株の感染防止対策が緩和され、飯田さんとゆかりある方々を招いて、皆さんと偲ぶことが出来る日を待ちます。

最後に各種報告とスマイルを行い例会は閉会した。



在京ワイス合同新年会

恒例の在京ワイスの新年会が1月8日(土)13時より、東京YMCA東陽町センターとZOOMのハイブリッド方式にて、東京むかでクラブのホストで開催された。第一部、東京むかで土井宏二会長の開会点鐘、東京YMCA菅谷淳総主事、大久保知宏東日本区理事による来賓挨拶。第二部、甲斐和歌子氏(NGOジョイセフ)による、「思い出のランドセルギフト」にご協力を!の特別講演。アフガニスタンの子供にランドセルを手渡しするために、検品、梱包、輸送、配布を行っている活動の話。東京むかでクラブはこの活動を支援しています。第三部は各クラブのアピールタイム。各クラブコロナ禍の中で、工夫しているワイス活動が報告された。ひがしクラブからは千代副会長が、こどもダイニング支援とミニオープンハウス協賛などの支援活動の報告をした。最後に東京YMCAその他の連絡で閉会。

ハイブリッド方式の開催で、千代副会長、金丸は東陽町センターから、須田さん竹内さん沖さんはZoomより参加した。

YMCAニュース

担当主事 冲 利柯

▼国際協力募金

バングラデシュの7つのYMCAが運営するNFP E(働く子どもたちの学校)はコロナ禍で休校が続いていますが、児童とその家族を支援するため、東京YMCAは国際協力募金から約12,000ドルを送金しました。現地では10月から12月の期間に、YMCAスタッフ、教師、ボランティアが各家庭を訪問し、7つの地域で計235世帯に、食料(米・豆・油・ミルク等)、教材、マスク等の支援物資を届けることができました。ご協力有難うございました。

▼特別支援短期水泳実施

10月に開催されたインターナショナル・チャリティーランの支援金により、はじめてウエルネス東陽町と山手ウエルネスで障がい児を対象とした「特別支援短期水泳教室」を冬休み中に実施しました。参加者やその家族から好評で、春休みにも実施する予定です。他に、チャリティーランの益金は、障がい児の日帰りプログラム、放課後等デイサービス、障がい児を理解するための講演会等の支援に用いられます。

▼クリスマス募金

会員や関係団体等に「クリスマス募金」の協力をお願いしたところ、個人・団体合わせて174件、総額1,940,500円のご支援をいただきました(1月13日現在)。国際協力募金、災害復興支援、フレンドシップファンド、障がい児プログラム支援等のために用いさせていただきます。

▼今後の予定

- 「YMCAピンクシャッター2022」
いじめ反対キャンペーン：2月23日
- 「第23回libyチャリティーコンサート」
日時 3月13日
会場：山手センター(オンラインもあり)
出演：越智光輝とゆかいな仲間たち/三菱商事コーラス同好会(映像出演)
- 「第31回チャリティーゴルフ大会」
日程：4月14日
会場：PGM総成ゴルフクラブ

★国際投票結果

次期国際会長に、デンマークのウルリック・ラウリドセン氏が選出され、次期アジア太平洋地域選出国際議員には川越クラブの利根川恵子さんが選出されました。おめでとうございます

★今月の誕生日

野本多美子さん(1日)

千代一郎さん(6日)

♥今月の結婚記念日

斉藤隆廣ご夫妻(12日)

